

「明石市みちビジョン」(素案)に対する意見公募結果

明石市みちビジョン(素案)に対する意見募集(平成26年8月1日～平成26年8月31日)を行ったところ、14件(4名)の意見を提出していただきました。

意見の概要とそれに対する市の考え方は次のとおりです。

なお提出していただいたご意見は、主旨を損なわないように要約しました。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	P16(9)道路の緑化 街路樹の役割は景観形成や生活道路のうるおい形成以外にもあるので記載してほしい。	ご指摘のとおりですので、文言を以下の通り、変更します。 (以下本文) 街路樹は道路交通の安全性、快適性を高め、沿道における良好な生活環境を確保し、また空間機能としての良好な公共空間の形成に資するものです。そのため、本市では平成11年に策定し、平成23年に改定した「緑の基本計画」に基づいて、道路緑化をすすめています。
2	P21(3)低炭素・循環型社会 「低炭素型の交通システム」や「芝生舗装」という文言の意味を分かりやすくしてほしい。	ご指摘のとおり、文言を以下の通り、変更します。 (以下本文) 道路においては、自家用車から公共交通利用へ促進していくことや、街路樹による道路緑化や駐車場の芝生化などにより、低炭素・循環型社会の実現に向けて貢献することが求められます。

3	P49 都市計画道路の整備 文章を分かりやすくしてほしい。	<p>ご指摘のとおり、文言を以下の通り、変更します。</p> <p>(以下本文)</p> <p>現在、明石市では、長期未着手の都市計画道路について見直しを行っています。この結果を踏まえて、都市計画道路の整備方針を作成し、優先度を十分に検討したうえで計画的に整備を進めます。</p> <p>整備方針の策定に当たっては、道路の交通機能の向上（走行時間短縮、走行経費減少並びに交通事故減少）だけでなく、下記に示すような評価項目を含めて検討します。</p> <p>a) 道路整備に対するニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環状道路のミッシングリンクの解消 ・都市防災機能の向上 ・市街地の形成 <p>b) まちづくりの他の事業との連携により相乗効果が期待できる整備</p>
4	P93 【施設配置】 文章を分かりやすくしてほしい。	<p>ご指摘のとおり、文言を以下の通り、変更します。</p> <p>(以下本文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者にとって心地よい空間を形成する観点から、休憩施設の設置により自己領域（理想的な距離間）の形成を図ろうとするもの。 ・ベンチの配置を工夫することにより、良質な歩行者空間を演出している。
5	西新町から貴崎のスーパーに買い物に行く横断幹線が国道2号と県道718号線の間欠落しているのが大迷惑をしている。計画はあるようなので早く着工して貰いたい。	<p>ご指摘の幹線は都市計画道路大坪線です。現在、明石市では、長期未着手の都市計画道路について見直しを行っています。この結果を踏まえて、都市計画道路の整備方針を作成し、優先度を十分に検討したうえで計画的に整備を進めます。</p>

6	<p>10年分の予算計上は無理でも最低2箇年程度の予算計上は必要と思います。普通この様な計画には既計画分も含まれるから。（特に既計画箇所や緊急補修箇所等:H26時点としても計上すべき）</p>	<p>明石市みちビジョンは中長期を見据えた道のあるべき姿についての考え方や今後10年間の道づくりの基本的な方針を示すものですので、予算につきましては記載しておりません。</p>
7	<p>施策整備については、具体的路線や場所（箇所）毎に記載する方が良いのではないかと。例えば交差点付近の整備では、右折レーン設置、信号機設置、歩道設置等の施策を記載する事でより整備内容が理解出来ると思われる。（理解が容易と思いますが）</p>	<p>明石市みちビジョンでは4つの道の将来像を実現するために、ハード整備だけでなく、5つの道づくりの基本方針にそってまとめております。</p>
8	<p>電線類地中化は出来る路線や面整備区域だけでも積極的に実施すべきである。身近な事例は大久保町西脇地区土地区画整理事業地区では住宅が立ち並び整然とした整備が進んでいますが、無粋な電柱が立ち並ぶ景観は非常に残念な思いがします。</p>	<p>電線類の地中化は、都市景観を向上し、安全で快適な歩行空間を確保することに寄与します。また台風や地震等の災害時に電柱が倒れたり、電線が垂れ下がったりといった危険がなくなります。倒れた電柱に道をふさがれ緊急車両の通行が妨げられることもなくなるため、都市防災機能の向上にも非常に効果的です。明石市としましても道路新設や道路改良を行う場合には、必要性を検討し適宜実施していきたいと考えています。</p>

9	<p>社会資本の老朽化に対する意識が全国規模で高まっています。特に橋梁については早急な対応が求められ、月に一回程度現況調査を主眼にした調査を職員だけで実施する。(市内の橋梁数は不明ですが。また、難しいかもしれないが、リタイヤした土木技術者を募ってボランティアによる点検の実施を行えばよい。)</p>	<p>橋梁の老朽化対策としましては、5年毎の定期点検から健全度を把握し、損傷が軽度なうちに早めに修繕を行い、長寿命化を図る「予防保全型」の「長寿命化修繕計画」を市内182橋について策定し、架替・補修を現在実施中です。</p> <p>また、今後は道路の構造、交通に著しい支障を及ぼす道路施設については国が定める統一的な基準により、5年に1度、近接目視による点検を実施します。</p>
10	<p>全国的に必要な施策でも明石市内で必要がなければ無理に掲載せずに削除したほうが良いのでは、国交省HP等の資料掲載が多く見られ横並べのビジョンを作ってもしょうがない。限られた予算や人材の中でより効率的なビジョンを作成することが重要であると思います。</p>	<p>明石市みちビジョンは中長期を見据えた道のあるべき姿についての考え方や今後10年間の道づくりの基本的な方針を示すものです。また先進的な事例として国交省HP資料も紹介しています。将来像を効率的に達成するために、限られた予算や人材の中でどの施策をどこでどの程度実施するかについては今後も検討していきたいと考えています。</p>
11	<p>住民が意識し、親しみのもてる道路にするために、小学校への通学路などのネーミングをみんなで決めたらよい。</p>	<p>基本施策1-2③に記載のとおり、道に親しみや愛着を持てるように通り名をつけることを今後検討します。</p>
12	<p>車優先からの脱却のためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道新設、カラー舗装、30kmゾーン、7~9進入規制 ・路側帯に自転車走行の明示を。交差点にも。 ・横断歩道の信号時間の調整・配慮を(通学路) 	<p>車優先の道路整備からの脱却のために、5つの基本方針にそった、あらゆる施策を重層的に組み合わせて、実施していきたいと考えています。</p>

13	<p>街路樹、植樹帯の樹木や花について。毎年、樹木の剪定、雑草刈がある。コスト低減に向け街路樹、植樹帯を考え直す必要があります。</p>	<p>街路樹、植樹帯は道路交通の安全性、快適性を高め、沿道における良好な生活環境を確保し、空間機能として良好な公共空間の形成に資するものです。また温室効果ガスを吸収するなど環境負荷の低減に寄与します。ただご意見のとおり管理をするには剪定、除草などが必要となるためコストがかかります。また基本施策1-1①に記載のとおり人優先の道路整備を行う際には植樹帯を撤去することも必要な場合があります。</p> <p>今後は路線ごとに街路樹、植樹帯の必要性について考えていきます。</p>
14	<p>意見交換会について 以前、数か所で意見交換会がありました。どのような意見があり、このみちビジョンに反映されたのか、よく分かりません。資料として追加してもよいのではと思います。</p>	<p>意見交換会の意見は「明石市みちビジョン」本編巻末の資料に掲載します。</p>